男鹿潟上消防本部です。

＿＿＿

男鹿潟上消防本部です。

様

緊急通報のFAXを受信しました。

ただ今そちらに、（消防車・救急車）が向かっています。

通報内容から判断すると、救急車が到着まで

心臓マッサージ

の応急手当が必要です。

自分の身の安全を確保した上でご協力をお願いします。

以下の通り、実施してください。

①倒れている人を仰向けにします。
②倒れている人の横に位置します。
③胸の真ん中に手のひらの付け根を当てます。
④その上にもう一方の手を重ねます。
⑤両肘をまっすぐに伸ばして、真上から約５cm沈むように、体重をかけながら胸を強く圧迫します。
１分間に１００～１２０回のテンポで圧迫します。

この方に正常な呼吸や目的のある仕草（払いのける）が認められるか、救急車が到着するまで連続して続けてください。

男鹿潟上消防本部です。

様

緊急通報のFAXを受信しました。

ただ今そちらに、（消防車・救急車）が向かっています。

通報内容から判断すると、救急車が到着まで

気道確保（空気の通り道を作る）

の応急手当が必要です。

自分の身の安全を確保した上でご協力をお願いします。

以下の通り、実施してください。

頭を後ろにのけぞらせ、あご先を上げて空気の通り道を作ってください。

首をケガしている場合は、あご先を上げるだけにします。

嘔吐した場合は、吐いたものが詰らないように顔を横に向けてください。

救急車が到着するまで継続してください。

もしも、呼吸が止まってしまったら、**心臓マッサージ**が必要です。心臓マッサージの方法を送信しますので、この用紙をそのまま送り返してください。

男鹿潟上消防本部です。

様

緊急通報のFAXを受信しました。

ただ今そちらに、（消防車・救急車）が向かっています。

通報内容から判断すると、救急車が到着まで

異物除去（詰まったものを取り除く）

の応急手当が必要です。以下の通り、実施してください。

反応（意識）がある場合

咳をすることが可能ならばできるだけ続けさせてください。

それでも取れない場合は、詰まらせた人の背中（左右の肩甲骨の間）を強く連続して叩いてください。

反応（意識）がない場合

胸骨圧迫（心臓マッサージ)を実施してください。

①倒れている人を仰向けにします。

②倒れている人の横に位置します。

③胸の真ん中に手のひらの付け根を当てます。

④その上にもう一方の手を重ねます。

⑤両肘をまっすぐに伸ばして、真上から約５cm沈むように、
体重をかけながら胸を強く圧迫します。

１分間に１００～１２０回のテンポで圧迫します。

この方に正常な呼吸や目的のある仕草（払いのける）が認められるか、救急車が到着するまで連続して続けてください。

男鹿潟上消防本部です。

様

緊急通報のFAXを受信しました。

ただ今そちらに、（消防車・救急車）が向かっています。

通報内容から判断すると、救急車が到着まで

止　　血

の応急手当が必要です。

自分の身の安全を確保した上でご協力をお願いします。

以下の通り、実施してください。

感染防止のため、血液に直接触れないように、
ゴム手袋やビニール手袋があれば手にはめてください。

出血部位に綺麗なガーゼ・ハンカチ・タオルなどを重ね強く押さえてください。

救急車が到着するまで継続してください。

男鹿潟上消防本部です。

様

緊急通報のFAXを受信しました。

ただ今そちらに、（消防車・救急車）が向かっています。

通報内容から判断すると、救急車が到着まで

熱傷（やけど）

の応急手当が必要です。

自分の身の安全を確保した上でご協力をお願いします。
以下の通り、実施してください。

患部を水道の流水で痛みが和らぐまで冷やしてください。

衣服を着ている場合は、脱がせず衣服ごと冷やし、
水疱（水ぶくれ）は破らないようにしてください。
広範囲のやけどの場合、長時間の冷却は避けてください。
化学薬品によるやけどの場合、直接触らないように注意してください。